

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 3 月

計画の名称	8 豊かな自然環境と調和し、特色ある美しい水辺をつくる海岸整備																				
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			交付対象	東京都																
計画の目標	自然環境との調和や海岸の有効利用を図りながら、海岸の特性に応じた整備により、快適で美しい水辺の保全・創出を図る。																				
計画の成果目標 (定量的指標)	・津波や高潮により海岸利用者が被災するおそれのあり、緊急的な防災機能の確保や避難対策の促進、護岸の強化が必要な25海岸を、施設整備により1海岸に減少させる。																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 4 魅力的な水辺空間の創出 津波・高潮により海岸利用者が被災するおそれのある海岸数＝事業箇所の海岸数－施設整備により保全する海岸数</td> <td>25海岸</td> <td>1海岸</td> <td>1海岸</td> <td>・定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。</td> </tr> </tbody> </table>									定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	A 4 魅力的な水辺空間の創出 津波・高潮により海岸利用者が被災するおそれのある海岸数＝事業箇所の海岸数－施設整備により保全する海岸数	25海岸	1海岸	1海岸	・定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																	
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																		
A 4 魅力的な水辺空間の創出 津波・高潮により海岸利用者が被災するおそれのある海岸数＝事業箇所の海岸数－施設整備により保全する海岸数	25海岸	1海岸	1海岸	・定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。																	
全体事業費	合計 (A+B+C)	930 百万円	A	930 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%											

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
東京都内部で事後評価を実施	平成28年2月 公表の方法 東京都ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 4 魅力的な水辺空間の創出															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A4-15	海岸	離島	東京都	直接	-	和田浜海岸環境整備事業	人工リーフ (L=150m)の一部	新島村	■	■	■	■	■	930	
小計 (魅力的な水辺空間の創出)										930					
合計										930					
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
					-										
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考		
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
					-										
合計															
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

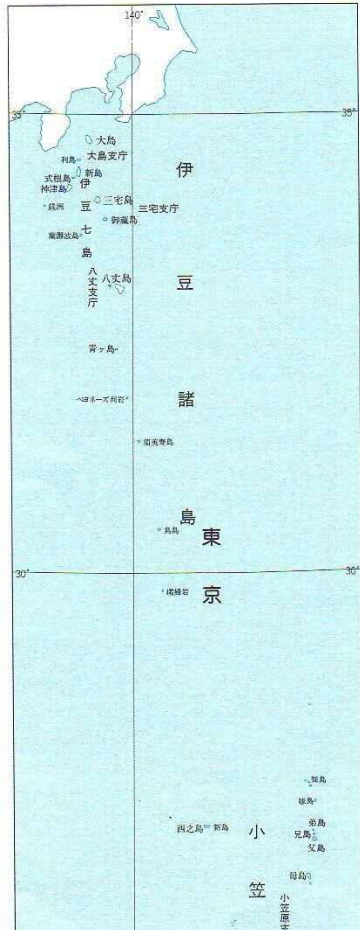
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		目標を達成しており、快適で美しい水辺の保全・創出に寄与している。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（被災するおそれのある海岸数）	最終目標値	1海岸	目標値と実績値に差が出た要因	目標を達成している。
		最終実績値	1海岸		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

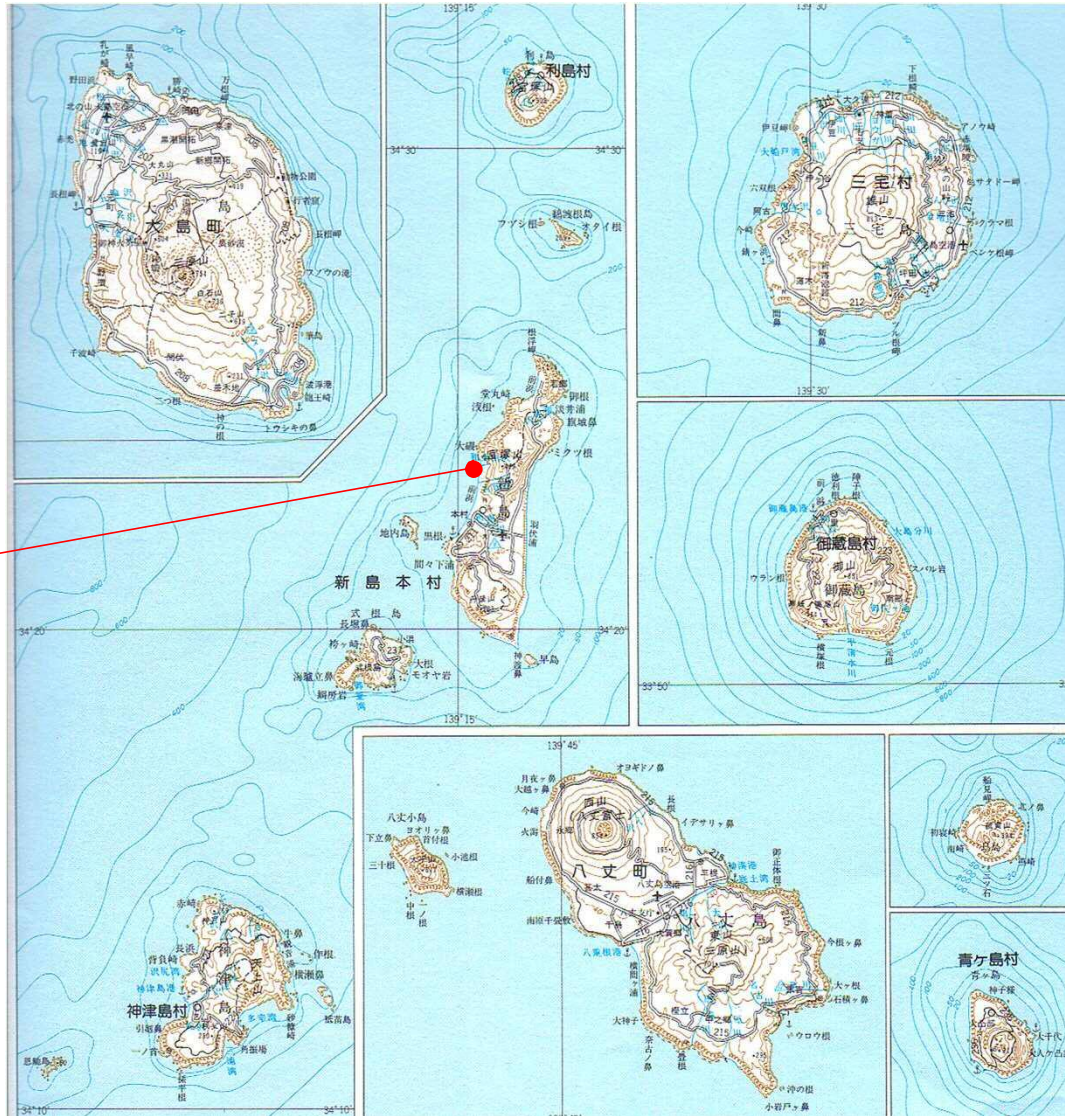
平成27年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業を推進し、快適で美しい水辺の保全・創出を図る。

(参考図面)

計画の名称	8 豊かな自然環境と調和し、特色ある美しい水辺をつくる海岸整備		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度	交付対象	東京都



1-A4-15 和田浜海岸環境整備事業



凡 例	
A: 基幹事業	
B: 関連社会資本整備事業	
C: 効果促進事業	
補助事業	
都 県 境	